

八重山毎日新聞

THE YAEYAMA MAINICHI SHIMBUN

11月25日 日曜日

2012年(平成24年)

発行所

株式会社 八重山毎日新聞

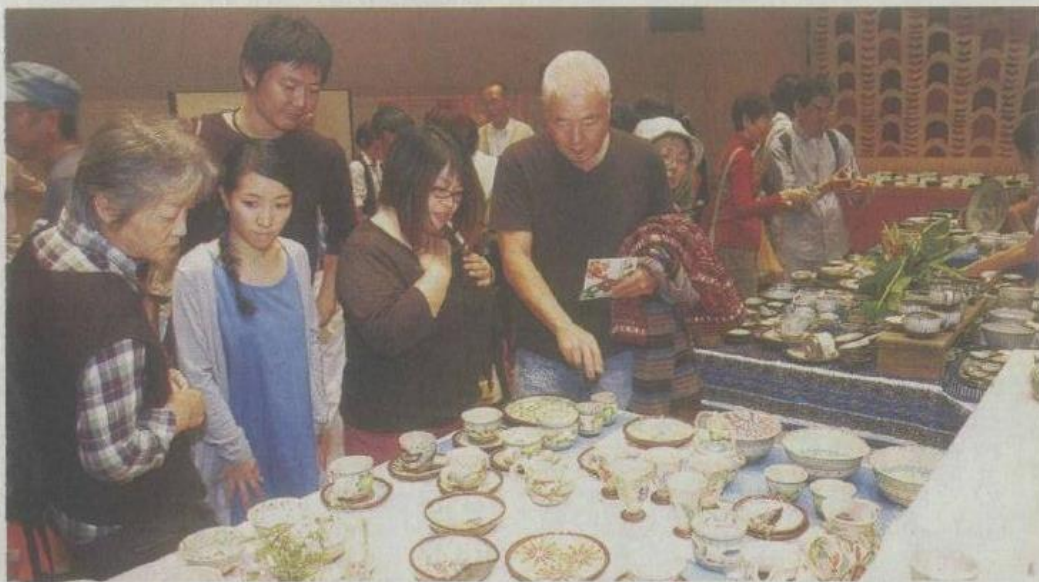
〒907-0004 沖縄県石垣市宇登野城614

初日から盛況

14工房が500点を展示即売

うまで館
きよ市民会館

石垣島やきもの祭り開幕



24日開幕した第3回石垣島やきもの祭り。初日から大勢の人々でにぎわった。24日午前10時半ごろ、市民会館中ホール

第3回石垣島やきもの祭りの実行委員会主催が24日、石垣市民会館中ホールで始まった。市内にある26の工房のうち14工房が一堂に会し、オリジナルの作品5000点を展示販売。午前10時の開場前から10数人が列をつくるなど人気で、初日から大勢の人々が見に来た。25日は午前10時から午後5時まで。

今回は各工房の作品を集めたチャンプルボックスを企画、5000円(6000円)から50000円(60000円)まで、30000円(60000円)の2種類計16箱を用意した。

会場には食器類など日用品や置物などが並び、参加者は各工房のコーナーを回って、品定めをしながらお気に入りの品を買求めている。

会場では、実演コーナーや体験コーナーもある。25日の実演は午後1時から、前半は体験は午前11時から正午までだが、事前の予約が必要。

実行委の金子晴彦会長(石垣焼窯元)によると、市内の窯元は那覇市(25窯元)より多く、窯業が盛ん。「祭りを通じて切磋琢磨(せつたたくま)するようになり、技術が格段に向上した。独自のうわぐすり、つまり化粧や服にこだわるところになっている。産業として成り立つようになりたい」と語った。

孫の司ちゃん(5)と会場を訪れた平良真佐恵さん(54)は「第一回から来ているが、ずいぶんと質が良くなった感じがする。色も土も違ってきて楽しい。焼き物の里みたいなのがあれば観光にも役立つのではないかと話した。

河口英昭さん(85)・磯子(S)さん(76)は「1月に来たが新しい石垣島がみえる。新しい息吹を感じる。今回は特にそう」と感心していた。

会場では、実演コーナーや体験コーナーもある。25日の実演は午後1時から、前半は体験は午前11時から正午までだが、事前の予約が必要。

記者席

第3回目。回を重ねるごとにレベルアップしているという。諸事情があって参加できない工房もあった。

▼市民会館中ホールで24日開幕した石垣島やきもの祭りは今年

受け継ぐやきもの祭り

り、那覇市よりも多い。来年は出店工房を増やし、もっと広い会場で開催してみたい。

「八重山の宴」は初の催しのため、盛り上がり期待される。その一方で、一般来場者の駐車場の狭く、臨時駐車場の石垣第二中学校グラウンドは遠いと不満の声も。高齢者や幼児を抱えた家族連れへの配慮が必要だ。